

こども若者★いけんぷらす いけんひろば

～中学校の休日の運動部活動の
地域クラブ活動への移行について考える！～

フィードバック資料
(中間報告)

令和5年10月28日（対面開催）

2023年度『こども若者★いけんぷらす』事業

1. 開催概要

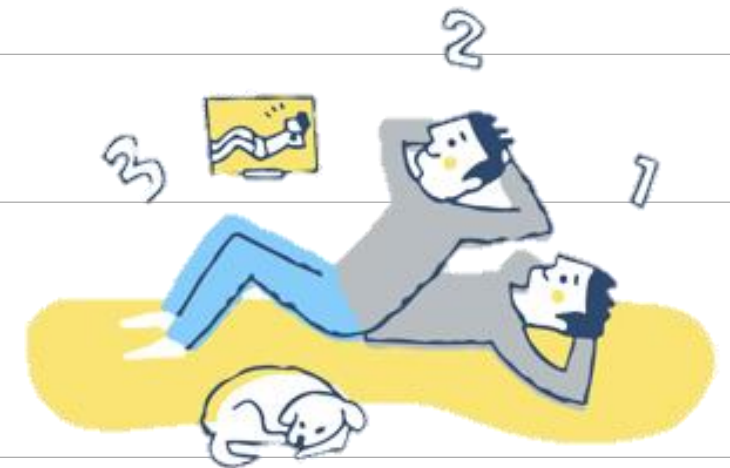
2. スポーツ庁「地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業」への反映について

3. 関連リンク集

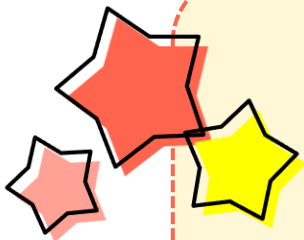


1. 開催概要

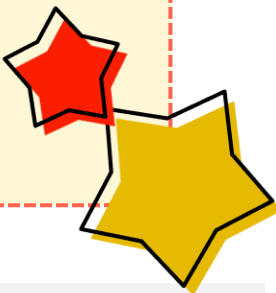
テーマ	中学校の休日の運動部活動の地域クラブ活動への移行について考える！
担当省庁	スポーツ庁
開催日時	令和5年10月28日（土）14:00～16:00
開催場所	東京都千代田区大手町1-2-1 Otemachi One タワー18階（PwCコンサルティング合同会社内会議室）
参加対象者	ぷらすメンバーのうち、中学生
参加人数／グループ数	・1班：5名 ・2班：4名
質問例	① 今後、休日の学校部活動の代わりに行われる地域クラブ活動で、新しく取り組んでみたいことはありますか。 ② どのような活動内容であれば、普段、運動・スポーツに親しんでいない中学生が、休日の地域クラブ活動に参加してくれると思いますか。



2. スポーツ庁「地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業」への反映について



今回のいけんひろばでいただいた意見は、 スポーツ庁の「地域スポーツクラブ活動への 移行に向けた実証事業」の実施方針 に反映しています！



「地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業」の実施方針とは

- 「地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業（以下、「実証事業」という。）」とは、各都道府県・市区町村が、それぞれの地域スポーツの推進体制等の下で、**地域の実情に応じて、運動部活動の地域スポーツクラブ活動への移行に向けて多様な取組を実施するもの**です。
- スポーツ庁では、実証事業を効果的かつ円滑に実施するため、**事業実施に当たっての基本的な考え方や方向性等を整理したものとして、実施方針**を示しています。
- 都道府県、市区町村では、この実施方針をもとに、事業計画を作成し、事業を進めていきます。



みなさんの意見は、
自治体の担当者向けの説明会等でもご紹介！

生徒のニーズや意見等が反映される仕組み

◆ 参考：こども家庭庁とスポーツ庁の連携した取組

令和5年10月28日（土）に、こども家庭庁が行う「こども若者★いけんプラス」の枠組みで、10人の中学生（9都府県）から中学校の休日の運動部活動の地域クラブ活動への移行について意見を募集した。

部活動の課題

- ・所属する部活の時間以外の時間に他の活動をしたい
- ・休みのタイミングを調整して兼部できるシステムがあったらいい
- ・部活は締めづらいついで途中入部もしたい
- ・顧問の先生が知識もなく、よく知らないのに口を出してくるのは困る。プランを一緒に考えてくれるだけでもいい
- ・団体競技では特に他校と交流を持ちたいのと思うが、先生たちの交流がない

指導者の質

- ・すごい指導者の合同練習会があればいい
- ・（時々でも）プロに教えてもらうのは効果的で、重要
- ・やりたい人がいればそれだけでクラブは作れる。指導者は見つけれたらいいねという感じで、好きなようにやっていければいいのではないかな

ニーズに応じた活動

- ・軽く・楽しむことを目的にしたい
- ・一つ一つの部活をゆるくしてほしい
- ・遊びでもスポーツができればいい
- ・体育で遊びたい。部活は力持ちすぎる
- ・勉強と両立するため、短時間でできる運動であればいい
- ・スポーツは楽しみながらできるほうがいい
- ・エンジョイしたい人と大会で勝って実績を積みみたい人のバランス

金銭的不安

- ・金銭面で外部のクラブに入るハードルが下ればいい
- ・月払いだと「お金がかかるから休めない」となるので、都度支払いがいい

交流の活性化

- ・やれる部活の種類が増えたり、他校の生徒と試合ができたりしたら嬉しい
- ・いろんな人と交流できる運動施設があれば、それを目的に運動しに行ける

レベルに応じた活動

- ・初心者など、レベルで分けたほうがいい
- ・指導者の人数を増やしたら、どちらのタイプの人も見てあげられるのでは
- ・部活の席に「初心者でも優しく教えます」と記載されたりしていると初心者でも安心できる
- ・学年関係なく同じレベルからスタートと良い
- ・運動が苦手な人でも集まっているようなスポーツを経験できれば、恥ずかしいし、得意なものや自分が得意なものも見つかるのでは

多様目

- ・様々な部活・いろんな種目を体験して楽しむことができると面白い
- ・いろんな競技を練習の一環として経験できるといい
- ・レクリエーション的なものを土日にやりたいといい
- ・学校に部活という枠をつくるより、やりたい人が地域のクラブに行きやすい方が続けられる
- ・地域クラブの種類は部活動の種類より多いと嬉しい

やってみたい活動

スキー/スケートボード/ラグビー/弓道/卓球/バレーボール/新しいスポーツをやれたらいい
ボウリング/ボッチャやモックといったパラリンピック競技/インド活動/メイク/何でもかきやってみるといい

※出典：こども家庭庁の資料に基づきスポーツ庁作成

みなさんからいただいた「日ごろの部活動／地域のクラブ活動について思っていること」、
「普段、運動・スポーツに親しんでいない中学生が、運動・スポーツに参加する方法」、
「魅力を感じる部活動」に関する意見は、実施方針の中の
「（１）「地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証」において取り組むべき観点」の部分に反映しました。



みなさんの意見

- エンjoyしたい人と、大会で勝って実績を積みたい人のバランスを取れたらいい。
- 部活がハードなのに勉強もたくさんあって大変。部活を大会に出ることが目的ではなくて、楽しむことを目的にしてほしい。
- 地域クラブの種類は部活動の種類より多いと嬉しい。
- レクリエーション的なものを土日によったりできるといい。
- 今の部活は練習場所が狭いし、部員20人に対して指導者も1人しかいない。実力的には3～4グループに分けられるが、グループ分けして練習する場所もない。コーチを増やせたらいいと思う。
- 指導実績のある先生の指導の時間をもっと取れると嬉しい。

意見反映時のポイント

- こども・若者のみなさんのニーズや意見が反映される仕組みを作ることが重要であること
- 多種目・ニーズに応じた活動ができること
- 指導者の量が確保されていること
- 指導者の質が保障されていること

実施方針 (意見が反映されたもの)

【観点①】地域の実情等に応じた多様な地域クラブ活動のモデル（収支構造を含む。）の構築等

- 生徒のニーズや意見等が反映される仕組み（例えば、生徒によるワークショップの実施や児童・生徒へのアンケート調査等）や生徒が地域クラブ活動の運営に参画して活動を支える事例の収集等を行う。（P.6）
- 競技・大会志向で特定の種目や分野に継続的に専念する活動だけではなく、例えば、体験教室やレクリエーション的な活動、複数の種目を経験できる活動、障害の有無にかかわらず誰もが一緒に参加できる活動など、生徒の志向（希望する内容も含む。以下同じ。）や体力等の状況に適したスポーツに親しむ機会を提供する地域クラブ活動のモデルの構築を目指す。（P.6）

【観点④】指導者の質の保障、適切な指導の実施、指導者の量の確保に関する方策の検証、好事例の収集

- 生徒の多様なニーズに応えられる指導者の養成や資質向上を図る観点から、地域クラブ活動に携わる指導者に対して、地域の実情や地域クラブ活動の方針、参加者の志向等に応じた研修機会を提供するとともに、指導者が学び続けられる仕組みづくりや指導者資格の取得を目指す環境整備も進め、指導者の質の保障、適切な指導の実施の担保方策を検証するとともに、好事例を収集する。（P.8）

都道府県・政令指定都市での取組について

- 実施方針は、令和6年1月に、スポーツ庁から都道府県・指定都市に向けてお知らせをしています。
- 実施方針をもとに、実際に都道府県・指定都市がどのような取組をしたのかは、来年度はじめ頃に改めてみなさんにご報告したいと思っています！

関連リンク集

「こども若者★いけんぷらす」についてのホームページ

[「こども若者★いけんぷらす」について | こども家庭庁 \(cfa.go.jp\)](https://cfa.go.jp)

「いけんひろば～中学校の休日の運動部活動の地域クラブ活動への移行について考える！～」のホームページ

[いけんひろば ～中学校の休日の運動部活動の地域クラブ活動への移行について考える！～ について | こども家庭庁Web \(cfa.go.jp\)](https://cfa.go.jp)

「学校部活動の地域クラブ活動への移行」についてのホームページ

 [部活動改革ポータルサイト ～学校部活動の地域連携・地域クラブ活動への移行（地域移行）に向けて～：スポーツ庁 \(mext.go.jp\)](https://mext.go.jp)

